

9・18つどい 三中総学び、「総選挙必勝大作戦」の跳躍台に

市田副委員長の講演 確信と感動の輪が広がる

「9・18つどい」は、7割の支部2000人が視聴し、「比例を軸」「中国ブロックは一つ」で議席奪還に挑戦する跳躍台になっています。以下、いくつかの感想を紹介します。



「各地での野党共闘候補の勝利、『黒い雨訴訟』『森氏の引退』など時代の変化を感じる」（岡山）、「市田さんの話はとても分かり易く、今回の総選挙の『党躍進の意義』がストンと落ちました」（広島）、「新しい段階での『大平必勝への新たな力』になりました」（山口）、「有権者に今度の選挙で何をどう伝えたらよいか伝わってきた」（島根）、「とても分かり易く、『何を今これからすべきか』が腹に入った」（鳥取）、「今度の選挙で、有権者に何をどう伝えたいのか、伝わってくる話だった」（島根）。

また、ユーチューブのチャットで「有権者の1%しか投票しない自民党総裁選を延々と報道するマスコミに負けないよう頑張ろう」などの声が寄せられています。

「9・18つどい」を受けて、中国ブロックの各地で、市田さんが最後に提起した「先手必勝」「比例を軸」の取り組みが広がっています。

議席奪還5日間作戦 各地で「比例は日本共産党」の風



大平議席奪還・中国ブロック5日間作戦は、16日から20日の間、中国5県の小選挙区候補、地方議員を先頭に、駅頭・門前宣伝、街角宣伝、「集い」など多彩に取り組まれ、各地で「比例は日本共産党」の風を大きく吹かせました。

写真は、左から広島の青年キャラバン、広島の女性後援会宣伝、岡山の「市民と野党の合同宣伝」、仁比聡平前参議院議員も「5日間作戦」に駆け付けた広島県廿日市市での宣伝。